

## 第11回議会懇談会

### 1グループ 第1部 人口減少対策

- ・ 町は6次総をやればと答えている。議員として詳細なことを聞いていないのか。どう人口を増やすの
- ・ 原因から質問してはどうか。町を支えている産業とかから考えなければならないのか。
- ・ 国が輸出産業に力を入れ、小農家を相手にしていない。農業に対して、施策があれば農業者は減らな
- ・ なぜ減ったのかを話し合えばよい。
- ・ もっと高く売れるとか、そういったことをできないのか。特産品、目玉がない。上富は気候がよく味はいい、大規模だけではだめ。
- ・ JAがそういうスタイルだからである。方針は大規模化、施設もしかり、小規模で食べれなくなって減って
- ・ 昔は町の人口の40%。人口も都会に流出している。
- ・ いいものを作るのにもったいない。
- ・ 有休農地も増加している。
- ・ 四季彩の丘で上富良野産の農作物を売っているが、観光者向けで広がっていかない。町がセールスに歩いていない。
- ・ 発信もできていない。いいものを発信できていない。移住した人もいる。分け方をする箱ものを作ればよ
- ・ おいしいものは手間がかかる。
- ・ 有機肥料もしていない。収穫後の還元がない。
- ・ 町全体で土づくりをすればよいものがとれる。
- ・ この辺では地元産を使っているのは一軒かも。値段は高いがおいしい。
- ・ 小さい村でも特産品を作って頑張っている。
- ・ 車がいっぱい来て買って行く、この辺ではない。
- ・ 東京で上富良野産のしいたけを売っている。
- ・ 原因解決するためにどうするのか。町のセールスがうまくいっていないのではないのか。グルメを作るのにセールスをしていないと思う。議員の立場でどう考えているのか聞きたい。
- ・ 農地、いいところと悪いところがある。そういった地図をつくれぬのか。(それはできないこと)
- ・ 有休農地がいっぱいあるのか。
- ・ 農産物のいいものを多くの人で評価すればよい。評価されていると思う。
- ・ 有休農地は解消されているのか。
- ・ 離農者を防ぐことが必要。
- ・ ふらので新規就農をバックアップしていると聞いたことがあるのか。
- ・ 数年のバックアップでいなくなる人もおり、JAの支援も厳しい。
- ・ 農家が自分で耕作を管理している。おいしいと言われることが報われる。
- ・ 手間がかかるのが人手がいる。有機は機械が苦手な年寄りも農家ができる。
- ・ 6次総にもりこまれているのか。議員は言えるのか。
- ・ いいものか。あるのかないのか。わかっていることが問題。

### 1グループ 第2部 公共交通

- ・ 江花、堅田さんの交差点が事故が多い。信号はつけられないのか。
- ・ レンタカーも多い
- ・ 予約型乗合タクシーの件は今後どうなっていくのか。予約が難しい。なんとかならないのか。
- ・ 時間予約、制限がある。こころよく対応されていない。違う交通手段がなく、不便である。買い物のはしごができない。
- ・ 現状では無理。
- ・ 話し合いの場をもつことが大事。
- ・ アンケートの質問事項が多く、大変。うまく伝えられない。
- ・ 2025年問題もあり、人を集めて話し合いが必要。
- ・ 1つのバスで買い物運行できないか。
- ・ 以前循環バスがあった。ニーズがなくなった。
- ・ この件で議員が質問して話してほしい。
- ・ 西コース、東コースで循環できないか。
- ・ 高齢者の免許更新が難しくなる。
- ・ 近所にもお願いできない。
- ・ 買い物は毎日でなくてもよい。
- ・ 買い物で友達、知り合いと会うことは楽しい。病院でも送迎している。
- ・ コンパクトシティ構想も必要。
- ・ 買い物に行けない人を送迎できれば大型スーパーもなくなる。
- ・ こういった話が形になればよい。話だけで終わってはダメ。
- ・ 接客が大事。
- ・ 何のためにやっているのか、説明も大事。

- ・ 議員に動いてもらいたい。
- ・ 元気な高齢者もいる。共助にならないか。地域毎で話し合っ考えていかなければならない。
- ・ いろんな方、知識のある方、〇〇、〇〇〇など検討して
- ・ 基本的には町である。
- ・ コミュニティもある。
- ・ 責任問題であり、やっぱり行政。
- ・ 希望は循環バス。
- ・ こういった話はいろいろな方が集まって話し合いが必要。それが議員活動である。話し合えば我慢することもできると思う。

## 2グループ 第1部

- ・ 2/10議会だよりの改善に感謝。
- ・ 基幹産業は農業である。
- ・ 日の出公園の駐車場問題に今後どう取り組むのか。
- ・ 歩いて登る人はいない。
- ・ 他の人に迷惑がかかるので必要。町長は土地にこだわりすぎ。「ラベンダー祭り」に名称変更。町民の土地は安く買うべき。駅裏からの〇〇道路 拠点施設の情報がほしい。商工会が使うのなら駅裏につく
- ・ 高齢者が歩いて行ける場所につくってほしい。日の出公園では無理。
- ・ 駅中心に設置すべき。町民の憩いの場。
- ・ 〇〇、高齢者、多世代交流の、お土産も。
- ・ 第1回観光→第2回交流と参加者の顔ぶれで変化。ドーコン〇〇が交流に変化。観光要素が減少した。
- ・ 6次化の要素も含めていたのに交流の場が広く〇〇〇〇。
- ・ かみんが交流施設になっている。道の駅的な施設がほしい。
- ・ 道の駅だけでは赤字、冬が厳しい。
- ・ 観光をメインにするなら道の駅が必要。
- ・ 周辺自治体が〇行してきた分、飽きてこれから上富に関心が高まる。
- ・ 道の駅は夏のイメージがあるが、考えてほしい。
- ・ 役場新庁舎の際にかみんを空けたら？日の出公園、期間限定店舗があってもよいのでは。
- ・ 人材不足で各自治体〇〇している。

## 2グループ 第2部

- ・ この懇談会スタイルは好ましい。
- ・ サブテーマを〇〇に提示するスタイルもよい。
- ・ 人口減少問題。人材育成。会社の〇〇を今後商工会員にレクチャーしていく。
- ・ 商店街の活性化、空き店舗。
- ・ 与えられた環境の中でどう行っていくか。
- ・ 後継者不足。
- ・ 老人の集まる場所。子育て世代も必要。世代を隔てず、利用できる交流の場。
- ・ 空き家〇〇を利用し、各地域で集う場所〇〇を
- ・ そのためにはスタッフ〇〇
- ・ スタッフは充実している。
- ・ 地域の会館は月1〇で利用はできないのか。
- ・ 各地域、住民会単位であるといい。一カ所だけだと人を集めなければならない。食堂一カ所あるとよい。
- ・ 食堂許可は難しい。
- ・ 〇でなら駅の近く。拠点も駅でなければ。
- ・ 映画の進捗。3~5億かける。地元は盛り上げる役、上高朗読劇など。
- ・ 役者などの発表もなされる。地域の映画として地域に〇〇作りにくい。
- ・ 四季彩まつり、商工会はボランティア。実行委員長は町長なのにおかしい。
- ・ 朝から会場で来場客の接待をする。
- ・ 観光で来て気に入って移住している。
- ・ 観光客のお金を落とすところがない。お金を落としてもらう仕組み
- ・ アドミッションフィーを取る運動の後にラベンダーの株を買う。
- ・ テイクアウトできるもの、コロッケなど100円くらいで
- ・ ウェディングフォト、アドミッションフィーを取る。
- ・ 人口減少、観光〇〇としてもっと目立たなければ
- ・ 情報発信、ネットで起業。ビジネスはPC1台でできる。

### 3グループ 第1部 子育て、町立病院、歩道整備

- ・オニアザミの件は昨年回覧板に入れたが、上富町民の問題点である。
- ・上富の人口が18,000人から10,600人ほどになっている。これをどう捉えて町の施策をどうしていくのか。
- ・町立病院を含む病院の再編統合などの内容を知りたい。
- ・町立病院の問題もいろいろ、子育てなど他の方の意見を聞くべきなのではないか。
- ・「母子保健の充実」について、取り組んでいるものは。
- ・米沢議員が10年近く言っている、医療費無料化などの子育て施策が実現していないのはなぜか。
- ・無償化よりも他を充実させているというのは、無償化が先ではないのか。
- ・健診と医療費無償化が繋がっているのか。私には子どもの中性脂肪が高いなど、結果が出ていないのに無償化をしないというのはよく理解できない。
- ・子どもの医療費無償化など子育て充実させた方がいいと思う。子どもはどれくらい生まれているのか。
- ・上富は保育所が足りているのか。
- ・自分の子どもは2歳だが入るのは難しいと聞いている。
- ・読み聞かせしているが、入所の様子をうかがっているが大気はないと聞いている。
- ・選ばなければ入れると思う。
- ・子どもの医療費について、予防費を減らしてでも中学生まで医療費無償化にすべき。子どもは怪我したり病気をしないといかない。予防してもどのくらい病院にかかっているのか。データを見ればよいのでは
- ・ごみ収集について、古いごみ袋30円足りないと言われ、役場に行くと名前を書けなど、職員が細かく対応している。町職員がすべきものなのか。コンビニなどで手続きできるようにすべきはどうか。
- ・町立病院の耐用年数など。
- ・小児科があればよいが、せめて医療費無償化があればよい。
- ・富良野協会病院に行っても、〇〇科医がいなかった場合があり、翌日行かなければならないなど医師が少
- ・病院は高齢者施設と一緒にいいのか。子どもの施設は近くにほしい。
- ・議員は具体的な説明は受けていないのか。
- ・町は決まってからでなく、町民に意見を募り、病院建設していくべきではないか。
- ・上富の宅地も安くなっている。町中の住民に近いところに病院建てれるのではないかと聞いている。建ててほしい。
- ・町道の歩道も整備してほしい。歩道に手すり、休憩所など他に整備している町がある。木を植えるよりベンチなどの整備を。高齢者は散歩中に倒れる人もいる。段差解消など整備を。
- ・私も300m歩いたら足が痛く、休憩したい。バス停がなく休憩する場所がなく、元バス停にベンチがあると良

### 3グループ 第2部 高齢者支援、町立病院、子育て

- ・医療費について
- ・生活習慣病予防
- ・町立病院の受診したくない思い
- ・高齢者支援について、前回懇談会で議会の説明が不十分と議員の議員定数〇〇と言ったが、広報に載っていない。
- ・高齢者の防災について
- ・障がい者部会で上川の会合行った。運転免許返上などで上川障がい者部会解散した。上富は障がい者部会あり。
- ・オニアザミ、議会から町長に言ってほしい。
- ・子育て支援、医療費、空き家対策
- ・高齢者支援、地域支援
- ・認知症になる前に独居の方、自立している方が急に亡くなるのが続いた。元気な独居でも緊急通報システムつけるべき。元気な独居で申請しても断られるようだが、町はsysつけられるようすべき。
- ・認知症でも初期に薬で進行抑えられるが、認知症の人は薬を飲むのを忘れる。服薬管理をできる仕組みがあればよい。
- ・最近、気候条件が変わってきている。いろんな点を加味しながら対策を立ててほしい。先ほど歩道の問題、話が出ていたが坂道の対策などされたい。車道と歩道との段差も今までとは違う。対策が必要。
- ・要支援者20人ほどいるが、自主防災〇〇で避難所まで要支援者を送れるのか。支援する人、仕事もしており、〇〇わさなくなってきたり、スムーズにできなくなってきたり。鍵が閉まっているが、ガスは～などどこまでやるのか、やれるのか。
- ・行政に頼るのではなく、地域でどうしていくかである。
- ・65歳以上、町は33%。住吉は43%ほど。一昨年、全道ブラックアウトの時古い公住の半分は空き家なので支援者宅を確認するのに大変苦労した。独居老人、高齢者のみの世帯、耳が遠い人もおり、防災無線だけでは本人からの助けを求めてこないとわからない。議員も地域に足を運ばれたい。地域の実情を細かく知らないのではないかと聞いている。議員も町に要望されたい。
- ・仕事から帰ると救急車来ているなど対応されたい。
- ・町立病院整備について、スピードが遅い。構想も遅く、整備が間に合うのか。議員も徹底していただきたい
- ・町立病院病棟で、歩けない人のおむつ支援にお願いしてもなかなか対応してくれず、入院したくない思いがある。



- ・子育て支援といってもどういった支援があるのか。
- ・若い世代の意見をくみ取るように来やすいように工夫されたい。

#### 4グループ 第1部 上高の存続について

- ・子どもが上富良野高校へ進学するが、給食が出るのが話題になっている。保護者としてありがたい。
- ・上富良野高校の存続は危ないのか。
- ・今年人数が増えた理由は。
- ・少人数で生徒に寄り添う、給食が出る、体験入学が5割増であった。
- ・就職に対して学校が親身である。
- ・先生や生徒の良さが伝わっている。
- ・上富良野の特色を活かした高校が作れるのではないか。
- ・上高の泥流地帯の活動は、若いうちに地域のためになる経験はなかなかない。郷土の愛着に繋がる。
- ・eスポーツが中高生の話題。特色を持たせることが大事。
- ・学校に通うことがどういうことか特色つけていくことが学校存続に繋がるのでは。
- ・狂言などの体験も地域の人材を活かしてここからできる。
- ・議会として上高に求める施策など動きはあったのか。
- ・図書館教育に力を入れてもらいたい。近隣の学校図書室には学校司書がいるが、上富は図書館職員が兼任している。こういった意見をすい上げてくれる場が欲しい。
- ・東神楽町の図書館には小規模だが、施設が整っている。図書館はリラックスできる場であってほしい。
- ・有資格者ではなくても、パートで本を整理する人がほしい。
- ・上富良野にも不登校問題はありますか。
- ・勉強に重きをおいている。表現する力を養うことが今の中学校には足りないのでは。声を聞いているのか。一人ひとりに寄り添えているのか。
- ・小学校は大らかだが、中学は余裕がない。受験意識が早くなり、生徒の余裕がない。急かしすぎでゆとりがないのでは。
- ・勉強、スポーツなど一人ひとりの居場所があればよい。
- ・図書館を充実させることで繋がるのでは。
- ・本にふれる機会に恵まれていることがよい。
- ・学力を重視している。小さい町なので不登校の子の居場所がない。
- ・1つじゃなくていろんな答えがあればよい。
- ・大きな町ではフリースクールがある。
- ・子どもセンターがあるので就学前の子どもに手厚い。就学後の相談場が・・・

#### 4グループ 第2部 施設について

- ・文化施設について、音響版の要望をしたがなかなか受け付けてもらえなかった。各施設で使う時に移動させなければならぬ。
- ・公民館が冬になると寒い。今の暖房は温まるのに時間がかかる。熱が逃げないようにできないのか。
- ・社協センターの体育館の天井の電気は真ん中だけでなく、横側にもほしい。卓球するときなど暗い。
- ・スポーツ協会が電気と床の要望を出しているが解決には至っていない。
- ・(音響版)予算が余ったら少しずつ買ってほしい。
- ・発表会など年に約10回使う。
- ・スポーツ協会から検討してもらいたいもの。公民館の施設料がとられるが、無料にならないのか。個人ではなく組織なので。
- ・社協センターができてから管理費がかかるようになった。
- ・町の予算があるので、それぞれの町の考え方。
- ・減免制度がある。
- ・今のままでよいのでは。
- ・スキー場のリフト、富良野や中富は小中学生は無料である。上富は小中学生でもかかるので無料にしてほしい。
- ・社協にスポーツ協会の担当者がいないので、できれば担当者がほしい。
- ・ふくいさんの後の新聞さんをお願いできないのか。
- ・たまたまスポーツ協会にいたのでやってくれていた。
- ・社協で使っているコピー機を団体などが使用できないのか。
- ・協働のまちづくりと言っているので、その辺をバックアップしてもらいたい。
- ・図書館には人がいない。利用率など調べているのか。利用率を高める工夫があればよい。子どもたちなどが集まる場として活用していく方向性はないのか。新しい本をリクエストすれば入る、など宣伝が必須。
- ・複合型拠点施設に図書館や文化施設などを取り組んでいくのか。町民が集まってくれればと思う。